

Q 35

次の文は、乳幼児の虐待についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

平成27年 問14



- A 「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第10次報告)」(厚生労働省)によると、平成24年度に把握した心中以外の虐待死事例では、3歳未満が6割を超える。
- B 「代理人によるミュンヒハウゼン症候群」は、虐待の一つである。
- C いわゆる揺さぶられ症候群は、虐待により生じない。
- D 愛着に関わる問題は、被虐待乳幼児に起こり得る精神的問題の一つである。
- E 被虐待体験は、乳幼児にとって心的外傷になり得る。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	×	○	○
3	○	×	×	×	○
4	×	○	×	○	×
5	×	×	○	○	○

⑤環境及び安全の実施体制

Q 36

次の文は、乳幼児の事故への対応に関する記述である。最も不適切な記述を一つ選びなさい。

平成23年 問11



- 1 子どもが重症の場合では、他の職員に助けをもとめる前に、まず一人で処置をする。
- 2 5か月位から2歳位までの子どもでは手に触れたものは何でも口に入れようとするので、子どもの手の届く範囲から危険なものは取り除いておく。
- 3 風呂にふたをすることや子どもが屋外に勝手に出られないようにすることも事故の防止に効果がある。
- 4 安全な保育環境の整備をはかると同時に安全教育も大切である。
- 5 事故や災害で怖い体験をした後に、長期にわたって日常生活に障害を及ぼすことがあり、これをPTSD(心的外傷後ストレス障害)という。